

地域の皆様には、日頃より中海こども園にご理解ご支援いただきありがとうございます。この園情報誌は、当園の取組内容を地域の皆様にお知らせすることにより、情報公開および地域と園との連携を図る一助にしたいと思っています。

昨年秋は、新型コロナウイルスの状況が落ち着いていたので、運動会、保育参観、表現会、5歳児の白拍子・剣舞発表会、親子遠足を制限付きながら保護者に参観や参加をしていただくことができました。

さて、中海こども園では子どもたちの健やかな成長を願い、保育・教育に取り組んでいます。その中から今回は、大和善隣館の理念である「三つのゼン」について、実際の教育保育を例に挙げながら再確認させていただこうと思います。また、国連が提唱しているSDGs（持続可能な開発目標）のうち、特に意識して取り組んでいる教育保育についても紹介いたします。
 【園長 片桐 真二】

理念・方針・目標のもと、子どもたちの成長を願い、教育・保育をしています。

教育・保育理念
 「善隣のこころ」 いつでも どこでも そして だれにでも われ等 善き隣人たらん

教育・保育方針
 「三つのゼン」 安全（アンゼン） 自然（シゼン） 積善（セキゼン）

教育・保育目標
 「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- 健康で心豊かな子ども
- 感性豊かな子ども
- 思いやりのある優しい子ども
- 自分で考え、進んで行動できる子ども

【三つのゼンって何だろう？】教育・保育方針 三つのゼンを考える～第3回積善編～

積善

人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む。 道徳性や規範意識を身につける。



積善×異年齢交流 ～散歩での一場面～

ゆめ(0歳児)が銭亀橋までお散歩へ出掛けると、先に遊びに来ていたひかり(1歳児)、そよかぜ(2歳児)が自然に迎えに来てくれました。そよかぜさんがゆめさんに笑顔で声を掛けると転ばないように優しく手をつないで一緒に歩いていたり、芝生の傾斜をのぼろうとしたゆめの子の靴が脱げてしまった様子を見たひかりさんがさっとそばへ寄り、靴を履かせてあげようとする姿が見られました。

また、自分で捕まえた虫や葉っぱを見せに来てくれる微笑ましい姿も見られました。

子どもたちは、異年齢の交流をする中で、自然に年上の子への憧れを持ち年下の子に対する思いやりが育っていきます。



積善×食育 一緒に食べよう！心も身体も大きくなあれ

園での食事は、友達や保育教諭と一緒に食事をする場です。一緒に食卓を囲み、コミュニケーションをとりながら食事をする事で豊かな心と身体を育てています。



●だいち(3歳児)あおぞら(5歳児) ● 「Bちゃんいまーす！」～食後、ランチホールでの一場面より～

給食を食べ終わるのに時間がかかってしまった、だいち(3歳児)のBちゃん。保育者に促され給食室の下膳カウンターへ向かいましたが、カウンターの前で何やらもじもじとしています。

給食室から調理員が、「お皿(持ってきてくれて)ありがとう。洗っておくから、(下膳カウンターに)置いてね。」と、Bちゃんに声をかけますが、困った顔をしてなかなか食器を返せません。すると、給食室に呼びかける声が聞こえました。

「給食先生！Bちゃん(お皿)持っていまーす！」

お当番活動をしていた、あおぞら(5歳児)のC君でした。困っているBちゃんを見て、一緒に食器を返しに来てくれました。(どうやらBちゃんは、食べきれなかったおかずが少しお皿に残っていたので、食器をそのまま返してもよいか？と悩んでいたようです。)

給食室から調理員が、「おかずが少し残っているんやね。大丈夫やよ。わかったよ。」と声をかけると、助けてあげたC君はにっこり、困っていたBちゃんはほっと安心した様子で戻って行きました。



●ひかり(1歳児) ● やさいさん、よろこんでいるね ～野菜が苦手なAちゃん～

給食のたびにAちゃんは、
 Aちゃん: 「A、やさい、きらい。」と言います
 保育者: 「Aちゃんは、イヤかもしれないけど、やさいさんはAちゃんのこと大好きだよ。」
 「Aちゃんに食べてもらって大きくなってほしいなと思って来ているんだよ。」など保育者が声を掛けながらお口に入れてあげるとやっと食べられる、という具合でした。

しかし、年が明けて初登園の日。Aちゃんが登園するなり突然
 Aちゃん: 「A、やさいたべるよ。」と言うのです。

あまりの急な言葉に保育者は驚きましたが、その宣言通りにAちゃんは給食の野菜サラダを自分で食べたのです。保育者はAちゃんの気持ちを受け止め、たくさん褒めました。そして、
 保育者: 「やさいさんも、きっと喜んでるよ。」とAちゃんに話すと、にっこりと笑っていました。



積善×環境 ～地域の中で育つなかうみっこ～

中海こども園では一年を通し折に触れて地域の方々との触れ合いを重ねてきました。山の散策や川遊び等を通して豊かな中海の自然について教えていただいたり、やさいも会や鏡餅作りなど楽しい行事のお手伝いもしていただいたり地域の方々との触れ合いを大切にしています。また、この地域に伝わる剣舞・白拍子は毎年あおぞら(5歳児)が披露しており、それぞれの舞の歴史や踊り方を教えて頂き、その伝統は継承されています。

このような意味深い交流の積み重ねを通して子ども達は中海という地域の皆さんのたくさんの愛に包まれていると感じ、そして、生まれ育った中海を愛していく、あたたかく豊かな気持ちが育まれているのだと感じています。



社会福祉法人 大和善隣館はSDGsに取り組んでいます。 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

教育・保育×SDGs

【子ども達一人ひとりが主役！子ども主体の教育・保育環境づくり ～個々を認め合い、信頼感をはぐくむ～】

目標5：ジェンダー平等を実現しよう 「社会的・文化的に作られた性別＝ジェンダー」
 ★子どもたち一人ひとりが意欲的に園生活を楽しむことができるよう、子どもたちの姿と成長をとらえ、教育・保育環境を整備しています。園では異年齢交流を取り入れており、年齢や性別にとらわれず、皆が一人ひとりの持つ個性を大切に互いを認め合い、思いやりの気持ちや自己肯定感を育てています。

【遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく ～教育・保育目標より～】

目標4：質の高い教育をみんなに
 ★友達と互いに思いを伝え合い話し合いを繰り返す中で、協力したり工夫したりする過程を通して、子ども達はその時々に関心のあることが、園の行事や毎日の活動(あそび)に反映されるよう見守っています。このことが主体性を育む教育保育に繋がるよう努めています。

目標8：働きがいも経済成長も
 ★友達と心地良く過ごしたり、より楽しく遊んだりする為に自分達でも決まりを考えたり、新たに作り直したりと工夫するという場面がよくあります。園生活において信頼関係の土台を築き自他を認め合う経験が、様々な人々となつながら、互いに支え合いながら生きる(社会を営む)力の基礎となることを願っています。

給食レシピ

〇●白味噌ポトフ●〇

- | | |
|-------------------|---|
| 材料(子ども4人分) | 作り方 |
| ・鶏肉(小間切れ) 40g | ①ウィンナー、野菜を食べやすい大きさに切る。かぶの葉は、茹でてきざんでおく。 |
| ・ウィンナー 40g | ②あらかじめとっておいたかつおだしに、たまねぎにんじんを加え中火で10分ほど煮る。 |
| ・たまねぎ 小1個 | ③②にじゃがいもとかぶ、ウィンナー、鶏肉を加えて、中～弱火で火が通るまで煮る。 |
| ・にんじん 中1/2本 | ④具材に火が通ったら、白味噌を煮汁で溶き入れ、しょうゆで味を調える。 |
| ・じゃがいも 中1個 | ⑤茹でてきざんだ、かぶ葉を散らして出来上がり。 |
| ・かぶ 大1個 | |
| ・かぶ(葉) 適宜 | |
| ・しょうゆ 小さじ1/2 | |
| ・みりん 少々 | |
| ・酒 少々 | |
| ・白味噌 大さじ1 | |
| ・かつおだし 350cc | |



【こども園の給食人気メニュー】
 寒い冬にピッタリ！具たくさんで、栄養満点！冬野菜は体を温める効果があります。しっかり食べて寒い冬を元気に過ごしましょう。また、ポトフにすればスープに溶け出した栄養もしっかり摂ることができますよ。

